栄夜紅葉
清く初しを
あの曲のごとく心
ふるえ一の齢五十葉ばかりも
次して常軒の如く風にゆらぐ
れ実となり考ふるの実なきむし
なお葉の如く変ずる心地して友
の面うしに世実ふ一流をもちよりて
うまく巡善の法義をもとめ常盤座
この号の如く始終や世日、祐連中
もろこしも彼のめぐみ
木ろしも深や淵ふ
三富

# 初

二度目清書

朝東演雲 遊三段 順禮歌九段 賞四段

滋賀三代記 内閑楓三段 古今先代萩市殿 一の谷陣屋 通春鉢九段 日蓮記功派内 伊賀水滸七ツ目

中入

遊江源氏八段 楠三段 泉三郎 赤垣出三度目 石平 汗笑遊八ツ目 宗五郎責 段 (ねつ)川湊町の 段 忠臣蔵四段

多合出汗蔵七段目

世石帝寿清一(山代や) 増田(播や) 吉岡(伊勢) 重鳥浄瑠璃 錦家 西久 上谷(伊勢)上吉(伊勢)土出(門) 生玉 鏡善大夫淵 埋 坂甚 光善 右衛 宮喜見 大喜庵

語 変ゆや浮鳥前中谷雲竹 喪西 鳥甚 人吉字油善吉鳥清白清江 大喜

明治二十四年三月上旬 百千秋萬歳樂 大入 常盤座仁於て

清事 猿楽町九段 二つ目 已 清久 つ林吉 志摩仁 三 桂木(かつら)扇 英吉 谷ひや 定 中 味 民 蔵 吉 訟 富 三 吉 助

日

清事 猿楽町九段 小よ代 笑寿 二 結び八百屋 段 太功記二段 質屋 美谷一 汐汲 平治住家 石門 盗賊 楊 盗賊 土 楳笑 円覚寺 南巻 又助 三日太 日吉丸 三段 右仁 日

中

二十四孝 矢口渡 平 仮名手本忠臣蔵 三段目 三十三間堂 我好 志渡 師匠村九段 熊連中カタ合 蝶 苑

中

田(山中) 雲 卜(倉茶) 矢口渡 平 仮名手本忠臣蔵 三段目 三十三間堂 我好 志渡 師匠村九段 熊連中カタ合 蝶 苑

中

渋吉(山中) 重寺 仮名手本忠臣蔵 三段目 三十三間堂 我好 志渡 師匠村九段 熊連中カタ合 蝶 苑

中

浦(山中) 太 柿重 山常 里雲 吉 訟 富 三 吉 助

日

清久 つ林吉 志摩仁 三 桂木(かつら)扇 英吉 谷ひや 定 中 味 民 蔵 吉 訟 富 三 吉 助

初

二度目清書 朝東演雲 遊三段 順禮歌九段 賞四段 滋賀三代記 内閑楓三段 古今先代萩市殿 一の谷陣屋 通春鉢九段 日蓮記功派内 伊賀水滸七ツ目

中入

遊江源氏八段 楠三段 泉三郎 赤垣出三度目 石平 汗笑遊八ツ目 宗五郎責 段 (ねつ)川湊町の 段 忠臣蔵四段

多合出汗蔵七段目

世石帝寿清一(山代や) 増田(播や) 吉岡(伊勢) 重鳥浄瑠璃 錦家 西久 上谷(伊勢)上吉(伊勢)土出(門) 生玉 鏡善大夫淵 埋 坂甚 光善 右衛 宮喜見 大喜庵

語 変ゆや浮鳥前中谷雲竹 喪西 鳥甚 人吉字油善吉鳥清白清江 大喜

明治二十四年三月上旬 百千秋萬歳樂 大入 常盤座仁於て